

待 兼 山



大阪大学経済学部同窓会

2014年（平成26年）4月1日 第30号

ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>

国際化・グローバル化に向けて



同窓会名誉会長
大阪大学大学院経済学研究科長・
経済学部長

大西 匡光

平成25年8月26日付けで、大阪大学大学院経済学研究科長・経済学部長、経済学部同窓会名誉会長に就任致しました大西匡光です。主たる専門は、オペレーションズ・リサーチ、金融工学です。何卒よろしくお願い致します。

まずは部局の近況報告を致します。平成24年度より、大学院博士前期（修士）課程では、（旧）経済学専攻と（旧）政策専攻とを（新）経済学専攻に統合し、経営学系専攻と併せて2専攻体制としましたが、学年進行で、平成26年度には、大学院博士後期課程でも同様の統合を行い、改組を完成します。この改組の目的は、従前では、大学院への進学時には、研究者と高度専門職業人とのいずれの進路を選ぶかについてのおおよその意思決定をせねばならなかったところを、大学院で学修しながら、自分の適性について感触を得た上で判断を可能とするものです。

我が部局は、平成9年度に大学院重点化を実現して以来、大学院での教育・研究を主たる使命としています。それ以前では、大学院進学はすなわち研究者への道であって、いまもなお、そのように了解されることも多いのですが、現在、

学部の学生定員が1学年当たり220名であるのに対し、大学院では、博士前期課程では83名、博士後期課程でも25名となっていて、大学院の全学年を総計すれば、学部1学年分を超える規模となっています。もちろん、同窓会の会則によれば、大学院修了者は正会員の、そして大学院在生も準会員の資格を有していますが、学部卒業生・在生に比較して、残念ながら、彼らの同窓会への帰属意識は低いと言わざるを得ない状況ですので、今後、大学院生をも対象とする各種同窓会活動の展開を期待していきまして、部局としても、できる限りの努力を致したいと考えております。

さて、文部科学省は、昨年平成25年11月に、今後の国立大学改革の方針や方策、実施方針をまとめた「国立大学改革プラン」を策定し、発表しました。少なからずの大胆な提案がなされている中で、個別部局に対応を求められている重大事は、教育・研究の国際化・グローバル化で、とりわけ、受け入れ留学生の倍増が目標とされています。我が部局は、幸い、そもそも留学生の比率（数）は高く、最新の情報によれば、学部では5.13%（54名）、大学院では33.45%（92名）となっており、学内で1、2位を争っていますが、それでもなお一層の努力が求められています。そうした中、我が部局では教職員を2名配置して国際交流室を設置し、教育・研究の国際化・グローバル化のための諸活動を展開しています。とりわけ、近年、経済発展が著しいアジア諸国から優秀な留学生を獲得するための様々な努力をしています。こうした活動において期待されるのは、留学生OB&OGネットワークを拡大し、強固にすることで、今後も同窓会からのご協力を得ながら、そうした社会的要請に応えたいと考えていますので、何卒ご支援のほどよろしくお願い致します。

同窓会長ごあいさつ

グローバル人材輩出へ期待

経済学部同窓会 会長
古川 実



経済学部同窓会会長を仰せ付かっております古川実でございます。同窓会会報「待兼山」第30号の発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、会員各位の日頃の同窓会活動へのご理解とご支援に厚くお礼申し上げます。

さて、我が国経済は、安倍政権による経済政策いわゆる「アベノミクス」の効果により、昨年1年間で大きく好転しました。特に、第一の矢である大胆な金融政策と第二の矢である機動的な財政政策により、1ドル100円を超える円安を実現し、企業収益は大きく向上しています。それに伴い、株価も50%以上上昇し、史上最高益を更新する企業が数多く現出するなど漸く失われた15年に終止符を打つ分岐点にさしかかっています。その象徴的な出来事として、自動車業界等において今春闊で久しぶりにベアが実現しました。このような賃金の上昇が消費の拡大、企業収益の増大、設備投資の増大へと繋がっていく好循環となることが「アベノミクス」の第三の矢である成長戦略の目指すところです。

一方、我が国が今日直面している最大の問題は、少子高齢化です。現状の人口1億2,700万人は、2060年には8,600万人へと4,000万人減少すると推計されており、一人の生産年齢者が一人の高齢者を支えなければならない時代が到来します。そのための抜本的な打開策は、高齢者・女性の活用と経済成長です。

また、GDPの2倍以上にも達した国の財政債務残高を縮小し、財政健全化を実現するには、消費税の段階的引き上げ、増大する社会保障費への大胆な切り込みに加え、根本的な解決策として、経済成長を実現する以外に道はありません。この経済成長を担う主役は、我々民間部門であります。

アベノミクスの第三の矢である「民間投資を喚起する成長戦略」は、民間の自主的な投資を促すように環境を整えることであります。スポーツの競技では、世界共通のルールで競います。経済の世界でも、外国とイコールフットリングで競争できるよう、我が国の現行法人税実効税率35%台を西欧諸国並みの25%へ約

10%引き下げることや、労働規制緩和、TPP交渉の早期妥結等のサプライサイド政策が特に重要です。更に、原子力発電所停止後の国際競争力を見据えた我が国のエネルギー政策の抜本的な見通しも強く求められています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券景気循環研究所の嶋中雄二所長によると、東京オリンピックが開催される2020年に向けて、日本経済は短期・中期・長期・超長期のすべてで景気波動が上向き黄金の上昇期に入るそうです。今こそ、日本復活に向けて我々民間人は政府へ要求するだけの待ちの姿勢ではなく、いよいよすべての人々が行動を起す時であります。

また、その行動の向かう所は、人口減少の日本国内に留まるのではなく、マーケットを広く世界に求めるグローバル行動であります。我々は臆することなく世界共通語である英語で外国人とコミュニケーションできる能力を養わなければなりません。これから大学に求められるのは正に世界で活躍できるグローバル人材の育成です。この育成に成功した大学のみが21世紀に生き残れる大学です。

幸い、大阪大学は平野総長が大阪帝国大学創立100周年に当る2031年に世界の10指に入る大学を目指すとの遠大な計画を着実に推進されています。中でも、大西経済学部長からは経済学部には学内で一番多くの留学生が在学しており、大学内では一番国際化が進んでいると伺っております。経済学部から多くの有為のグローバル人材を輩出いただくことを強く期待しております。

現在、大阪大学では未来基金100億円の募集が行なわれていますが、我々同窓会も母校の発展のためにサポートしたいものです。

年1回発行される本会報は、同窓会と大学を結ぶ架け橋です。この会報を通じて大阪大学経済学部との絆を深める一助にいただければ幸甚に存じます。

最後に、会員各位、在学生の皆様、大学関係者の皆様のご健勝を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。



私は3つの会社での8年間の社長の経験から、ミッションというものは会社の経営にとっても個人にとっても大事なものであるという結論に達しました。本日はそのミッションということについてお話をさせていただきます。

大学を卒業し、日産自動車に入社した私は、生産管理、外注先の指導、販売子会社への出向、資材の購買などの業務を経験した後、社内留学制度を利用してUCLAのビジネススクールに留学しました。

ビジネススクールでのカリキュラムではいろいろと重要な知識を得ることができたのですが、それ以外にビジネススクール自体の運営の仕組みに触れる、そこで学ぶ学生たちの多様な価値観に触れる、といった機会を得ることができたことは私にとって非常に重要なことでした。

留学から戻り、財務の仕事をしていたのですが、ビジネススクールで学んできたことを活かしたいと思い、日産自動車を退社し、コンサルティング会社でのコンサルタント、日本コカ・コーラでの資材調達部門の運営業務などを経て、(株)アトラス(ゲーム会社)、(株)インフォレスト(「THE BODY SHOP」の運営会社)、スターバックスコーヒージャパン(株)の3社で経営者として会社経営に携わりました。

以前から企業は何のために存在するのかということが気になっていたのですが、専門経営者として活動するなかで、「企業は世の中をよくするためにある!」という考えにいたりしました。ノーベル経済学賞を受賞した学者のなかには、「企業の目的は利益の最大化である。」という旨の発言をしている人もいますが、それは間違っていると思います。企業は世の中をよくするためにあり、それが企業のミッションです。利益は企業がミッションを果たすための手段であり、それ自体が目的ではないのです。

企業を運営するうえで、ミッションはなぜ大切なのでしょう?ミッションを明確にすることで、それが旗印となりいろいろな価値観を持つ人たちを同じ方向に向かわせることができます。従業員のモラルを高く維持し、離職率を抑えることができます。また、ミッションに共鳴した人たちがその会社に入社してくれることにもつながります。変化の激しい社会の中、企業を運営するうえですべてのケースを事前に想定してマニュアルを作ることはできません。そのため従業員一人一人が臨機応変に適切な行動ができるよう、原理原則が重要になるのです。

私がスターバックスコーヒージャパンの社長をやっているときにあるお客様からお手紙をいただきました。そのお手紙は娘さんを亡くされたお父様からのものでした。娘さんはスターバックス二子玉川店のお店とそのスタッフとを気に入っておられたそうです。心臓移植のため渡米する直前、最後の日本での食事を二子玉川店でとりたい、しかしフライトの都合上営業開始前の早朝にしか店に行けない。娘さんのその状況をお父様から伺ったスタッフは翌朝、焼きたてのシナモンロールと娘さん宛の手紙を持って駅でお客様を待っていたそうです。お父様から私がいただいたお手紙には上記の内容と、娘さんが亡くなられる前にスタッフ宛にお書きになった手紙を何とかスタッフに届けてほしいということが書かれていました。

今すぐにミッションが見つからなくてもかまいません。しかし、自社のまたは自分のミッションが何であるかということは考え続けることが必要だと思います。また、ミッションは状況の変化や時の流れに伴い変わってもいいと思います。人や企業が力を持つようになると、それに応じてその人や企業の責任も大きくなるべきです。その意味においてミッションにも成長が大切だと思います。

【審議事項】

会長の犬伏泰夫氏(15期)が退任され相談役に、古川実氏(14期)が新会長に、寺西賢作氏(23期)が副会長に、それぞれ選任されました。

【報告事項】

会計の宗像宏治郎氏(38期)から平成23年度・平成24年度の会計報告があり、続いて会計監査の西尾方宏氏(23期)から会計監査報告が行われました。引き続き会計の宗像氏から、平成25年度及び平成26年度の予算報告が行われ、総会の議事はすべて終了しました。

平成25年度退職教員について

平成26年3月末で、経済学研究科の次の先生方が退官されました。

阿部 武司 教授

筒井 義郎 教授

伴 金美 教授

爲近 英恵 助教

東京待兼会だより

会長 久保 恵一（新24期）

平成24年6月の新体制発足から、間もなく2年となります。私なりに一生懸命やってきましたつもりですが、まだまだ至らぬ点が多く、今後も幹事の皆さま方と一緒に頑張りたいと、新年度に当たり決意を新たにしています。

東京待兼会では、毎年春・秋に、「春秋懇話会」を開催しています。昨年春は社会経済研究所・小野善康教授



の講演「成熟社会の経済に必要な発想の転換」、秋は日本観光振興協会・見並陽一理事長の講演「観光と地域振興」をお聞きました。この懇話会は、法学部の同窓組織「青雲会」と共催しており、多くの同窓生の交流・懇親の場として定着しています。

若手世代の活動活性化にも精力的に取り組んでいます。昨年9月には、20代の会員を対象とする若手交流会を開催しました。当会副会長である住友化学㈱代表取締役常務執行役員の西本麗さんの講演「アフリカでの蚊帳

事業」は大変好評でした。

ゴルフ部会の活動も活発です。春秋の定例コンペはこの10年で24回を数え、夏の（1泊）ゴルフツアーも定着しました（昨年は軽井沢で実施）。ゴルフでも他学部との連携を目指しており、今年1月4日の「初打ち会」は法学部「青雲会」、工学部の同窓組織「大阪大学工業会（OKC）」との3学部対抗戦として実施。10組・40名の同窓生が参加する大規模なコンペに発展するなど、学部の枠を超えて、大阪大学同窓生の交流が実現しています。

外国語学部の同窓組織「咲耶会」の諸行事との交流も継続しており、今後、更に多くの学部との交流を促進し、関東での同窓会活動の一つの核として、存在感を高めてまいります。

懸案の卒業生名簿の整備も進んでいます。事務局のご支援をいただきながら、今後も「組織化」を推進してまいります。引き続き、倍旧のご支援を賜りますようお願いいたします。



名古屋待兼会だより

会長 近藤 俊雄（新12期）

名古屋待兼会は経済学部卒業生のみならず、文系はもちろん理系の卒業生も対象とする東海地区の阪大卒業生の集まりです。東海地区は大阪・東京に比べ在住者が少ないのですが、それを逆手にとって総合大学の良さを味わうことができる場になっています。

長い人生のたかだか4年（+α）の時間を共有したに過ぎないものの、「同窓」というだけで特有の空気が生まれるのは不思議なものです。社会に出る前の多感な時期を、同じ学び舎で過ごしたことの持つ意味の大きさは理屈を超えたものでしょう。

名古屋待兼会の例会は、『小の月』の第三土曜日の18時が習わしとなっています。冒頭、会員が交替制で自分の得意な（好きな）テーマで話し、その後は会食・懇談となります。人前で話すのは準備も必要ですが、これが会の特色であり、長く続いてきた所以であると、先輩諸氏に敬意を表します。東海地区在住の皆さんのご参加をお待ちしています。（同窓会事務局までご連絡を）

■ 2月例会 「どうなる？ 今年の株式相場」

東海東京証券 菅原 拓也さん（H13文院）

■ 4月例会 「3年4カ月ぶりに国会に戻って」

衆議院議員 伊藤 渉さん（H4工）

■ 6月例会 「県名の由来を紐解く」

山下 英二さん（S40工）

■ 9月例会 「ホタルの一生 自然発生して飛ぶ蛍を夢見て」

三堀 俣さん（S34経済）

■ 11月総会

大学院法学研究科長・法学部長の竹中浩教授から、「最近の母校の話題あれこれ」とのテーマで刺激的なお話をいただきました。また法学部「青雲会」の野村会長にもご挨拶いただきました。



期会、ゼミ会だより (順不同)

「期会・ゼミ会だより」は、同窓会ホームページにも掲載しています。
同窓会の開催等の会員情報が必要な方は、同窓会事務局までお問い合わせください。

タイトル
①開催年月日 ②出席者数
③開催場所 ④ひとこと

新制4期(昭和31年卒)

①平成25年11月1日 ②12名 ③パノラマスカイレストラン・アサヒ(IMPビル26階) ④毎年11月の第一金曜日に開催している同期会を定例会場で開催した。卒業後初めて、ハワイから長井氏治氏が出席し、西願氏も夫妻で参加、賑やかな同期会となった。次回は今年11月7日に同所で開催する。



新制5期(昭和32年卒) 「一水会」35周年記念例会

①平成25年12月7日 ②31名 ③待兼山会館(大阪大学豊中キャンパス内) ④法経学部入学60周年を記念して、「一水会」35周年記念例会を開催した。豊中キャンパス内の探訪では、改装現場の「30周年記念モニュメント」を目にし、同窓会活性化の原点に立ち返った気持ちになった。



新制6期(昭和33年卒) 「燦々会」

①平成25年11月22日 ②18名 ③フェスティバルスイート(中之島フェスティバルタワー 37階) ④藤田先生の卒寿をお祝いし、眺望を楽しみ、昼酒をいただいて、参加メンバーが和やかな時間を楽しんだ。



新制10期(昭和37年卒) 「まぢかね会」

①平成25年10月19日 ②24名 ③新橋亭新館(東京・新橋) ④当日は遠路、北海道・大阪・金沢からも参加。各人が近況報告を行い、和気藹々の中、来年の再会を約して盛会裏に終了した。



新制13期(昭和40年卒) 同窓会

①平成26年2月21日 ②23名 ③大阪大学中之島センター ④毎年恒例の同期会を開催した。熊本から参加した者や初参加の者など、和気藹々と、あっという間の2時間を過ごした。次回は、平成27年2月20日(金)に大阪大学中之島センターで開催する予定である。



新制16期(昭和43年卒) 卒業45年記念同窓会

①平成26年2月20日 ②27名 ③オリンピア(新阪急ホテル) ④卒業後、初めての同期会を開催した。当日は、関西の各地に加え、関東や岡山からも同窓生が集まり、45年振りの再会を喜ぶとともに、学生時代の想い出話に花を咲かせた。次回、さらに多くの方々とお会いできることを楽しみにして、散会した。



藤田ゼミ 「藤田先生の卒寿を祝う会」

①平成25年10月27日 ②30名 ③関西文化サロン(阪急グランドビル19階) ④藤田先生の卒寿の祝宴にゼミ生が集まった。昭和55年当時、政府税調委員をお務めの先生は、社会の活力を保ちながら、痛みをどう分かち合うかといった、高齢化社会での福祉財源の税負担に言及されていた。今は、先生のご慧眼に敬服するばかりである。



本間ゼミ「霧霜会」

①平成25年11月9日 ②65名 ③大阪大学中之島センター ④ゼミ出身者に加え、先生の共同研究者やお世話になった方々も出席。特別企画として、本間先生から、日本の財政学の50年の歩みについてご講演いただいた。次回の「霧霜会」は東京にて開催の予定である。



筒井ゼミ

①平成25年11月30日 ②20名 ③待兼山会館(大阪大学豊中キャンパス内) ④筒井先生のご案内によるキャンパス散策の後、パーティーを開催。卒業以来となるメンバーも多く、自己紹介と近況報告が大半を占めた。筒井先生からは「それぞれが成長していて、教育っていいですね!」とのことをお言葉いただいた。



大学へ

すっかり生まれ変わった豊中キャンパス。久し

大阪大学総合学術博物館



阪急石橋駅側入口・坂下にあって「阪大の顔」となっているのが、「大阪大学総合学術博物館」。旧医療技術短期大学の校舎だった待兼山修学館を改修して、展示場としています。

文理両分野の常設展示に加え、研究成果の発信の場として「企画展」「特別展」を開催。身近な科学・文化をテーマに研究者と語りあうユニークな催し「サイエンスカフェ@待兼山」も。

開館時間 10:30～17:00 入館無料
(日祝・年末年始休館 4/27(日)、5/3(祝)は開館)

マチカネワニ (常設展示)

50年前に待兼山で出土した巨大ワニの化石標本。推定体長7メートルと恐竜なみサイズ。

阪大のマスコットグッズや、豊中市のゆるキャラ「マチカネくん」のモチーフにもなっています。

常設展示ではこのほか、阪大の源流である懐徳堂・適塾の資料、貴重な科学遺産である真空管式コンピュータなどが展示されています。



特別展

「漢方今昔物語： 生薬国産化のキーテクノロジー」

4月26日～7月19日開催

漢方薬の薬種栽培がどう進められてきたのか。江戸幕府の薬草国産化策を担った奈良県宇陀市の「森野旧薬園」の歴史検証から、「高知県立牧野植物園」と連携した最新研究成果を紹介します。

薬草などが描かれた門外不出の図絵「松山本草」のカラー映像など、貴重な資料を展示予定です。



橋爪節也館長

大学院文学研究科教授(近世・近代日本美術史)兼任。
「戦後大阪のアヴァンギャルド芸術」などの著作で知られます。



ミュージアムショップとミュージアムカフェ 坂

ショップでは、「大阪大学総合学術博物館叢書」や阪大グッズなどを販売。
オープンカフェの「坂」は眺望もなかなか、くつろげます。

行こう

ぶりに訪ねて「見て」「食べて」みませんか！

最新学食事情と名物メニュー

大阪外大との統合で阪大の学生数は、学部入学者が3,400人を超え、国公立大最多。全学部生が1年次を過ぎす豊中キャンパスは、「食」の充実が進んでいました！

図書館下食堂

耐震補強工事と合わせたリニューアルで見違えるように綺麗になったのが、通称「カンシタ」と呼ばれる図書館下食堂。

朝8時から夜8時まで営業しています。筆者在学中は「値段も雰囲気も味もチープ…」だった記憶がありますが…。

久しぶりに訪れた館下食堂は、面目一新。

明るくなったインテリア、天井に大型モニター、ボリューム満点の多彩なメニューが並びます。朝食・夕食を取る学生も多いそうです。



天津麻婆(マーボー)丼

今やすっかり「阪大名物」となっているのが、オリジナルメニューの「天津麻婆丼」。天津丼の上に麻婆豆腐がかかっています。両方を注文した学生が一緒にして食べたのが始まりだとか…。館下食堂のメニューを見ると、通常盛りでも、1,243キロカロリー、たんぱく質47グラム。「高カロリー、高タンパク」ぶりに驚愕していたら、男子学生たちが平然と「天マ、大盛り！」と注文していました。館下食堂が発祥ですが、阪大名物だけに他の食堂でも提供、独自にアレンジされています。是非、カロリーを気にしながら？味わってみてください！

「宙(そら)」には大阪王将も

池のほとりに建つ斬新なデザインの施設が、学生交流棟・カフェ & レストラン「宙(そら)」。

お洒落な雰囲気では眺望は抜群、ベーカリーもあって、女子学生の姿が目立ちます。

去年は「大阪王将」も出店しました。



「3食」「4食」

学生たちから、こう呼ばれるのが、豊中福利会館の3階、4階にある食堂。昭和52年に完成した会館は、去年リニューアル工事が完了したばかり。「3食」はカフェテリア方式で、焼き立てパンが味わえるパン工房も。「4食」はバイキング方式、おかずは好きな量だけ。油の使用を控えたメニューが特長。

このほかにも豊中キャンパス内には、多彩な食堂施設があります。

丼とうどんの「DonDon」
カフェテリア「らぶおれ」
キャンパスキッチン
カフェ「カルチエ」
待兼山会館 とんかつ&カレー「LIBRE (リブレ)」
など

ECOCA (経済学部同窓会学生部会)の活動

同窓会の学生部会である「ECOCA」が発足して5年が経ちました。現役学生とOB・OGをつなぐ大きな役割を果たしています。エネルギーあふれる活動ぶりを紹介します。

ECOCAは「学部生同士のつながりを深め、大学生活を充実させる」「キャリア形成のため自分磨きの場を提供する」という理念のもと活動しています。会員数は現在約380名です。

主なイベントは、

- ・新入生歓迎会
- ・OB・OG交流会
- ・法経OB・OG交流会
- ・就職活動支援プロジェクト（就職活動対策セミナーなど）
- ・卒業祝賀会

学生と卒業生とをつなぐ貴重な機会として始まったのが「OB・OG交流会」です。去年は6月に、梅田のビアホールを借りきって100名規模で開催。また法学部同窓会と合同で「法経OB・OG交流会」を、11月に阪大中之島センターで開催、約90名が参加しました。



「法経OB・OG交流会」(平成25年11月10日)



「OB・OG交流会」(平成25年6月12日)



取材にお邪魔したこの日は、「第5期総会」。執行部メンバーら約25名が出席していました。



「ECOCA第5期総会」(平成26年2月7日)

事業報告、予算案の承認、第6期の事業計画案などを審議、新旧会長の交代も。

会長を務めた川畑友和さんは「人との出会いで考え方や取り組み方が変わった。新しいチャレンジに取り組み、全員がよく頑張った」と総括。

新会長・白井拓也さんは「自主的に取り組み、イベントの質を向上させ、気軽に連絡を取れるプラットフォーム作りをしたい」と抱負を述べました。

名誉会長・浦井先生から「先輩友人との交友は一生続く。就職活動開始が遅くなって、業界探究セミナーまで1年空くのでノウハウがなくならないよう引き継ぎを」との言葉をいただき、総会は終了しました。

しっかりした展望も持って課題に取り組んでいることに感心！筆者が現役のころECOCAがあれば、もっと充実した学生生活を送れたのでは、と思いました。



執行部メンバー全員集合！

新幹事紹介



62 期代表幹事
佐野 徹

このたび、同窓会62期代表幹事を務めさせていただくことになりました佐野徹と申します。

私は大学生生活の大半をサッカー部での活動に打ち込みました。毎日夜遅くまで練習し、土日は練習試合で1日が終わる、そのようなとても充実した日々を送ることができました。その一方で、日々の生活がサッカー部中心に回っていたため、経済学部の人脈はあまり多くありませんでした。

そんな時、先輩の誘いで同窓会学生会部会（ECOCA）の運営メンバーに加わり、様々な活動の運営に携わりました。その中で多くの先生方やOBの皆さま、同級生や後輩と

関わることができ、人脈がぐんと広がりました。自分自身、ECOCAの活動を通じて、人間的にも大きく成長できたと思っています。

私は、これから、経済学部生のつながりを保ち、かつ一層広げていきたいと考えています。そして、より多くの人に経済学部の縁を感じてもらえるよう取り組んでいきたいです。代表幹事の仕事は、これらを実現する上で、またとない機会だと考えています。同窓会の更なる発展のため、誠心誠意取り組んでまいります。先輩方には引き続きお世話になることと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

平成25年度経済学部卒業生就職先 (大学院卒を含む)

(順不同)

就 職 先	人数	富士ゼロックス(株)	1	SMBC日興証券(株)	1	新日鉄住金ソリューションズ(株)	1
人 事 院	1	パナソニックエコシステムズ(株)	1	大 和 証 券 (株)	1	コベルコシステム(株)	2
経済産業省特許庁	1	富 士 通 (株)	1	日本生命保険(相)	7	コンテンツワークス(株)	1
国土交通省中部地方整備局	1	川 崎 重 工 業 (株)	2	三井住友海上火災保険(株)	1	関 西 電 力 (株)	2
裁 判 所	1	トヨタ自動車(株)	2	東京海上日動火災保険(株)	2	中 国 電 力 (株)	1
富 山 県 庁	1	(株)デンソー	1	ア フ ラ ッ ク	2	北 陸 電 力 (株)	1
兵 庫 県 庁	1	(株)アドヴィックス	1	農 林 中 央 金 庫	1	九 州 電 力 (株)	1
広 島 県 庁	1	ヤ マ ハ (株)	1	全国共済農業協同組合連合会	1	大 阪 ガ ス (株)	1
堺 市 役 所	1	ヤ ン マ ー (株)	1	生和コーポレーション(株)	1	(株)講談社	1
西 条 市 役 所	1	ダンロップスポーツ(株)	1	イオンモール(株)	1	デジタル・アドバイジング・コンサルティング(株)	1
大阪府立学校教職員	1	住 友 商 事 (株)	1	森 ト ラ ス ト (株)	1	有限責任監査法人トーマツ	2
国立大学法人大阪大学	1	(株)ニトリ	1	日 本 郵 便 (株)	1	(株)船井総合研究所	1
(財)阪大微生物病研究会	1	ユ ア サ 商 事 (株)	1	西日本高速道路(株)	1	(株)459	1
(株)きんでん	1	(株)京阪百貨店	1	阪神高速道路(株)	1	(株)スマイルズ	1
新日鉄エンジニアリング(株)	1	(株)徳岡	1	阪 急 電 鉄 (株)	1	合計(就職)	126
サントリーホールディングス(株)	2	(株)パル	1	阪神電気鉄道(株)	1	進学先	人数
セツカートン(株)	1	みずほフィナンシャルグループ	1	(株)阪急阪神エクスプレス	1	大阪大学大学院(経済学研究科)	14
大 正 製 薬 (株)	1	(株)三井住友銀行	4	三 井 倉 庫 (株)	1	大阪大学大学院(工学研究科)	2
第 一 三 共 (株)	1	(株)三菱東京UFJ銀行	5	西日本電信電話(株)	2	北海道大学大学院	1
住友ゴム工業(株)	1	三井住友信託銀行(株)	3	(株)NTTデータ	1	合計(進学)	17
旭硝子(株)	1	(株)京都銀行	1	(株)オースピー	1	総合計	143
JFEスチール(株)	1	(株)百五銀行	1	ソフトバンク(株)	1		
(株)デンロコーポレーション	1	(株)福井銀行	1	(株)ケイ・オブティコム	1		
住友電気工業(株)	1	(株)北陸銀行	1	(株)Visionary	1		
古河電気工業(株)	1	(株)中国銀行	1	合同会社アクロビジョン	1		
三菱重工業(株)	1	(株)山口銀行	1	(株)野村総合研究所	1		
日立製作所(株)	2	(株)鳥取銀行	1	ニッセイ情報テクノロジー(株)	2		
三菱電機(株)	1	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	1	T I S (株)	1		
村田機械(株)	1	みずほ証券(株)	1	日本ユニシス(株)	1		

平成26年2月17日現在、大学で集計されたデータをもとに作成したものです。



認定NPO法人
コムサロン21理事長
前川 裕司 さん
(新25期)

**「姫路おでん」で地元の食文化を全国にPR
「第6回B-1グランプリin姫路」を大成功に！
地域活性化のコーディネーターとして
奔走するアイデアマン！**

Q「コムサロン21」はどのような団体ですか。

平成3年に発足した、市民の皆さんの“思い”を“形”にすることを応援するNPO法人です。現在は、約40の市民活動の事務局運営や自らが企画した街おこしイベントの開催、行政との協働事業などに取り組んでいます。地域には、「この街をよくしたい」という思いを持つ人は多いのですが、それを実現するにはノウハウが必要です。私たちがサポートすることで、このような思いを具体的な形にできればと考えています。

Q街おこしに取り組まれたきっかけは。

大学卒業後、家業の削り節会社に就職しましたが、入社後すぐに病気を患い、約半年間入院しました。退院後、精力的に仕事に取り組み、業績も向上しました。一方で、売上に追われる毎日に、「このままでは、10年後、20年後も同じことをやっているに違いない。もっと別の生きがいがあるのではないか」という思いが強くなってきました。そんな時、松下幸之助も心服した思想家・中村天風師の著書「成功の実現」に出会ったことで、「仕事だけではなく、地域のため、人のためになることをしよう」という思いに至りました。このような気づきによって、皆で交流するとともにビジネス情報も共有するために作った交流組織が「コムサロン」です。しかし、コムサロンの運営は赤字を抱え、この組織は行き詰まりました。その時、同じダメなら周囲からも評価されている事業に特化しようと考え、営利目的のビジネスから「地域のための活動」に集中することを決めました。

Q「姫路おでん」の普及に取り組まれています。

街おこしは誰もが参加できることが重要です。バリエーションが豊富で、様々な店舗が参加できる「食」は、街おこしにうってつけです。そこで、当初は、「でんすけ丼」(穴子丼)や「鯛そうめん」を売り出そうとしましたが、なかなか定着しませんでした。そんな時、姫路の方から「おでんを生姜醤油で食べるのは姫路だけではないか」とのメールをいただきました。私も、おでんは生姜醤油で食べてい

ましたが、ご当地グルメとして姫路名物にするという発想はありませんでした。当時は他の地方ではほとんど知られておらず、しかし実際に食べてもらうと「おいしい」と言っただけが多かったので、これはいけると決心して、仕掛けたのがちょうど7年前です。「姫路おでん」と名付け、商標登録も行いました。

Q「B-1グランプリ」は大成功でした。

「姫路おでん」による街おこしをスタートし、ホームページやおでんマップなどを作りましたが、よりメジャーにするためには全国規模の食のイベントに出店する必要があると感じました。そこで目を付けたのが「B-1グランプリ」です。このイベントは平成18年に第1回大会が開催され、回を追うごとに注目が高まっていました。「姫路おでん」は第3回久米大会(福岡県)で初出店し、第4回の横手大会(秋田県)の場で、「第6回大会を姫路に誘致したい」と立候補しました。それまで近畿・中国地方で開催されたことがなかったことも追い風となり、その熱意もあって姫路での開催が決定しました。平成23年11月に開催された第6回大会は、2日間で50万人以上を集めるとともに、「姫路おでん」の名を全国にPRすることができました。

「姫路おでん」は以前からあった食習慣であり、通常ならそれで終わってしまいます。「姫路名物を作りたい」という強い思いが、成功につながったのだと思います。

Q経済学部での思い出は。

大学では、経営政策の長浜ゼミに所属していました。自由な雰囲気でのゼミで、企業を訪問し、経営者にヒアリングなどをさせていただきました。卒業論文では、お酒の「長龍」などを訪れ、レポートにまとめました。その時に企業の方から「人間にはバランスがある。良い人は良い人に出会い、怠ける人は怠ける人に出会う。良い人間に出会いたいと思ったら、自分自身を磨かないといけない」と言われ、なるほどと思ったことを覚えています。

Qこれからの取り組みを聞かせてください。

コムサロン21はこれまでの活動が認められ、昨年9月に「認定NPO法人」になりました。今までは、行政との協働を中心に、事業を展開してきましたが、認定NPO法人になったことにより、企業と協働事業をする場合は、企業は寄付金として特別損金処理できます。これからは、企業にとってもメリットのある地域貢献活動を、企業と協働しながら実施していきたいと思っています。

現在、姫路は、大河ドラマ「軍師官兵衛」や姫路城の大修理で注目されています。お城観光に食の魅力が加わると観光客のリピートにつながり、また、食文化はどんどん進化することが可能です。京都・大阪が「食の集まる街」なら、播州姫路は、酒・醤油・塩・削り節・昆布といった“味を生みだす地域”です。これらの強みを活かして、姫路をより元気な街にしていきたいと思っています。昨年5月には、姫路市の中心部にNPOが集まるビルがオープンするなど、活動の拠点づくりも進んでいます。人は、ひとりでは何もできませんが、ひとりから始めなければ何もできません。これからも地域のため、人のために活動していきたいと思っています。



株式会社ロートウェルコート
代表取締役社長

嶋田 一治 さん
(新32期)

今、一番熱いスポット「グランフロント大阪」で、**薬膳とフレンチを融合したレストラン「旬穀旬菜」**が人気。ロート製薬では**宣伝のキーマン**。

Q人気の店ですね。

オープン時はランチが2時間待ちの日もありました。1月現在も30分から1時間待ち。MBS「魔法のレストラン」でも採り上げられ、「グランフロントで行列のできる店」としてお隣の「近大マグロ」に次ぐ2位に。お昼は並ばないといけなこともあって主婦の方中心に女性が9割です。

Qどんなきっかけで、こうしたレストラン事業を。

「内側から綺麗に」「まずは社員が健康に」ということで大阪本社の社員食堂で10年前に「薬膳ランチ」を始めたんです。それを、東京支社の社員食堂を一部開放して一般の方にも提供したら、クチコミで評判に。こうして培ったノウハウをもとに、フランス料理の巨匠である三國清三シェフの技術と薬膳が融合できないか、とプロデュースをお願いしました。

Q工夫されたことは。

「大阪のおばちゃんは、コストパフォーマンスをしっかりとしないとダメ」ということで、平日ランチは1,150円。量は少し残されてもいいくらい、特に野菜は多めに。でも、みなさん完食されます。

Q「地産地消」とビル内農園の野菜で「薬膳フレンチ」。

「旬」のものを「旬」にきっちり食べるのが、そもそもの「薬膳」なんです。春に採れる山菜は気持ちを静める。夏の豚肉は体を冷やす働きがあるので、沖縄で豚を食べるのは理にかなっている。冬は乾燥するので身体を潤す効果のある魚や野菜を。メニューには「風邪をひきにくくする」などと書いてあります。産地や旬にこだわりのあった三國さんから「大阪に栄養価高くおいしい『なにわ伝統野菜』があるので発信していきましょう」と提案があって「河内れんこん」や泉州の「松波キャベツ」を食材に。ビル内の野菜工場で採れた野菜も使っています。

Qレストランなどを担当されるきっかけは。

宣伝部門が長く、タレントさんや著名人とも話ができる。食べ歩いてもらいましたので、「来い」ということに。子会社を立ち上げるときに、社長兼任しなさいと。

Q入社後2年間は営業マンを。

東京で下町地域の薬局や問屋さんを担当しました。「大

阪弁聞くと買われそう」と警戒されることもありましたが、通っているうち優しくしてもらえるように。しんどい目をしたのが報われるエリアでした。ロートは宣伝で売ってきた会社で、営業マンの数は少なかったんですが、量販店・ドラッグストアが伸びてきた時期で、ロートの製品を勧めていただくために、問屋だけでなく小売にも足を運ぶようになったんです。マツモトキヨシの本部があった千葉県の松戸まで怒られにも行きましたね（笑）。

Q3年目に宣伝部門に。

ロートは、1社提供の番組は放送局の制作会議にも出席するんです。初めは先輩についてMBS「クイズひらめきパスワード」の収録や会議に千里スタジオに行きました。一人で担当するようになってからは、TBS「クイズダービー」を月曜に収録、火曜に会議、関テレ「愛ラブ爆笑クリニック」を水曜収録、木曜会議。東京・大阪を往復です。「クイズダービー」の収録が終わったら局のプロデューサーと午前4時まで飲んで翌日は会議。クイズの問題をスタッフや構成作家さんらと、300問の中から20問を選ぶんです。大御所である大橋巨泉さんや桂文枝さんとも話せるようになった経験が、有名な料理人である三國さんとタッグ組むのにも役立っています。

Qそのあとは、宣伝ひと筋。

スポットCM出稿などのプランと番組作りを並行してやっていました。ロートに若い人向けの商品が増えてCMにアイドルを使うようになると、「内田有紀が取れるまで大阪に帰って来なくていい」と社長からプレッシャーをかけられました。仲良くなった音楽畑出身のTBS幹部がプロダクションの社長と親しかったので一緒に会いに行ってもらったりしてCM契約にこぎつけました。生みの苦しみもありましたが、商品も売れたし、プロダクションと仲良くなって、SPEEDとも真っ先に契約できました。

テレビの世界や芸能界が好きで、ロートに入って宣伝・広告に行けば番組制作にかかわれるかも、と思っていました。これまで、やりたいことをやらせてもらえて、ものすごく幸せでしたね…。

Qどんな学生時代でした。

奈良県の地元で親戚の家庭教師を3人も頼まれて、2時間以上かけて通学しました。

ゼミは大澤ゼミで「マーケティング」。市場調査をしに、吹田・豊中方面の団地に飛び込みで行きました。テーマを決めて500サンプルくらい集めました。ビールの指向などを聞いて報告書にまとめるんです。断られることも多いですが面白かったです。それが卒論(ゼミ論)の代わりでした。

もう1回大学行けるなら、下宿してサークルやったりして大学生活を満喫したいですね。

Q学生たちに贈る言葉があれば。

英語をやっておけばと痛切に思いました。これからは外国に行くのが普通です。日常会話ができるように「外国語はやっておきなさい」と。海外、それから東京にも行っておきたいですね。

会員管理部会から

会員管理部会長 三木 孝 (新30期)

1. WEB名簿のサービス開始

本年2月からWEB名簿のサービスを開始しました。同窓会ホームページのトップページから「名簿について」のタグを選択して、WEB名簿のページにアクセスしてください。ログインIDとパスワード（この会報に同封しています）を入力することで、サービスを受けることができます。会員情報を検索できるほか、登録情報変更の手続きもホームページから行うことができます。

なお、同窓会年会費(5,000円)の未納者はご本人のデータしか閲覧できません。つまり、会員情報の検索ができません。未納の方にはこれを機会に年会費を納入いただきますよう、よろしくお願い致します。

サービスの開始にあわせて、年会費未納者への閲覧制限をはじめとする各種ルールを定めています。WEB名簿のページからご覧いただけるようにしていますので、ご利用前には是非ご一読ください。

(同窓会ホームページ <http://www.machikaneyama.jp>)

2. 会員管理部会からのお願い

年会費

- ・年会費は年5,000円です。
- ・同封の振込取扱票により郵便局窓口で払い込みをお願いします。

年会費免除

- ・会則により卒業後(正会員資格取得後)40年を経過した方は年会費が免除されます。
- ・年会費が免除された方で志のある方には協賛金をお受けしておりますので、よろしくお願い致します。
- ・協賛金は一口1,000円で、出来れば3口以上をお願いします。同封の振込取扱票により郵便局窓口で払い込みをお願いします。

年会費の口座振替

- ・年会費は銀行等の口座から自動振替が利用できます。
- ・振替日は7月7日です。口座振替を希望される方は事務局へ連絡いただきますと、申込用紙を送付させていただきます。
- ・また、同封の不明者連絡カードの裏面に☑を入れてご返信いただければ、事務局より自動振替申込

書をお送りします。

- ・ただし、口座振替は翌年度からになりますので、今年度の年会費は郵便局で振り込み願います。
- 同窓会会員証 (GCCOカード)
- ・年会費及び協賛金をお支払いいただいた方には、同窓会会員証を送付させていただきます。
 - ・会員証を提示いただくと、当同窓会が加入している大阪梅田のハービスOSAKA6階の会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」をメンバー扱いでご利用いただけます。会員証は隔年発行で有効期限は2年とさせていただきます。

3. 年会費納入と名簿情報確認のお願い

- ・**会員データ確認票**を同封しています。登録データをご確認いただき、修正・変更等が必要な場合は、WEB名簿のページから変更手続きをしてください。(ファクシミリで同窓会事務局までお送りいただいても結構です)
- ・現在、年会費未納者が多数に上っており、このままでは同窓会の活動に支障をきたしかねません。このたびWEB名簿のサービスを開始しましたが、年会費未納者はご本人以外の会員データを閲覧することができません。これを機会に年会費の納入をお願いします。

なお、年会費を納入いただきますと、納入いただいた年度と翌年度について名簿閲覧が可能になります。(例：平成26年7月に会費納入すると、平成28年3月まで閲覧可能)

- ・**消息不明者のリスト**を同封しています。同期、同じゼミ、同じ勤務先などで所在をご存じの方がおられましたら、同封の不明者連絡カードに記入のうえ、個人情報保護シールを貼付しご返送願います。
- ・代表幹事の方には、同期で消息不明になられている方のご住所の確認作業を引き続きよろしくお願い致します。
- ・同窓会事務局への連絡は、メールまたは電話(火・木・金曜の午後1時~5時)、ファクシミリでお願いします。

Eメール：machikane@econ.osaka-u.ac.jp

電話：06-6850-5275 FAX：06-6850-5276

事務局からのお知らせ

○新会長に古川実氏(14期、1966年卒)が就任

昨年の総会で、新たに古川実氏が会長、寺西賢作氏(23期)が副会長に就任されました。記念講演では、スターバックスコーヒージャパン元CEOの岩田松雄さん(30期)から興味深いお話を聴くことができました。講演の要旨は3ページをご覧ください。

事務局も石田高仁さん(29期)が組織強化部会長、村井純彦さん(29期)が事業部会長として参加いただくことになりました。新しい力を得て、同窓会の活性化に取り組んでまいりますので、会員の皆様の一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

次回の総会は、来年2015年7月4日(土)に開催予定です。会員の皆様にはふるってご参加いただきますようご予定おきください。

○第10回ホームカミングデイの開催のお知らせ

毎年5月の連休期間中に開催される全学のホームカミングデイにあわせて経済学部ホームカミングデイを豊中キャンパスで開催しています。今年は5月3日(土・祝日)に開催します。詳細につきましては、経済学部同窓会のホームページでお知らせしますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。